

会議記録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度第1回 高松市認知症初期集中支援チーム検討委員会
開催日時	令和元年8月23日(金) 午後7時～午後8時30分
開催場所	高松市保健センター 5階研修室
議 題	(1) 認知症初期集中支援チーム活動報告 (2) 事例検討 (3) 意見交換 (4) その他
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	審議事項については、個人情報が含まれることから、高松市情報公開条例第7条第1号に該当
出席委員	6人
	吉田会長、中村副会長、三野委員、林委員、植野委員、岡田委員
傍聴者	0人
担当課及び連絡先	地域包括支援センター 地域支援係 電話 839-2811

協議経過及び協議結果

議事進行

会議の運営に関し、「高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱 第7条第2項第1号」に則って、議題(2)、(3)は、個人情報を取り扱うため一部公開とし、その他は公開することについて、承認を得る。

—以後審議—

議題(1) 認知症初期集中支援チーム活動報告

事務局から説明した。

議題(2) 事例検討

事務局から説明した。

議題(3) 意見交換

議題(1)、(2)についての意見交換

議題(4) その他

事務局から説明した。

【主な意見等】

議題（3）意見交換

A 委員) まずは活動報告に対する御意見ををお願いします。

E 委員) 作業療法士としての感想になります。チーム員の構成で作業療法士の数が少ないのが残念です。他の病院にも作業療法士は複数人いますが、通常業務の調整で参加が難しいと考えられます。しかし、可能な限り携わってほしいです。初期集中支援チームで、相談・訪問・アセスメントの際、作業療法士がいれば、例えば認知症で電子レンジが使えなくなったようなケース等にアドバイスできます。電子レンジは多機能でボタンが多数あるので、最低限のボタン以外の表示を隠すという工夫で混乱が減り使いやすくなります。薬の管理にしても、お薬カレンダーだけでは、今日が何日か分からなければ使えません。しかし、日にちが表示されるようなものを併用することで『13日だから13日の薬を飲もう』と対応できるケースもあり、作業療法士の得意とするところだと思います。それ以外の部分については、初期集中支援チームの関わり終了時の医療・介護サービス導入状況が、認知症施策大綱の目標65%を大きく超えていることは本当にいいなと思います。

D 委員) お薬カレンダーの話が出たが、私たち薬剤師はきちんと飲んでもらうことを一番重要と考えます。しかし、カレンダーにセットすると安心してしまいますし、薬を一包化しても破れたり転がりやすかったりするものを転がりにくい形にするなど、考えています。多職種連携で作業療法士の方のご意見もどんどん挙げていただいたら、改善の余地があると思いますので、どうぞよろしくお願いします。認知症施策大綱の目標65%と比較して分母の違いもあるでしょうが、良い結果が出ていると思います。チームにも薬剤師がいるところといないところがあるが、病院には薬剤師がいないのでしょうか？

A 委員) 病院にも薬剤師はいます。チームに入れていないだけで、相談はできると思います。

F 委員) 地域の人から、『物とられた』とか、『長男の嫁が盗る』とか、よく聞かれます。地域包括支援センターに連絡して相談を進めてもらっていますが、一人暮らしの高齢者の場合、家族が状況を分かっておらず、本人の様子が違うことを説明してもなかなか伝わりません。

C 委員) 『鑑別の重要性が示された』とあるが、困っているという訴えがある人に、適切な医療や介護に繋ぐものであるなら、最初に鑑別ができていないべきではないかと思います。改めて鑑別診断の重要性を示すのはなぜですか？

事務局) 国の初期集中支援チームの研修で出た例でも妄想が多い。本人はしんどい思いをするし、家族は妄想のターゲットになる。支援者も苦慮する。認知症によるBPSDからくるものであれば、家族の関りが良くなれば改善する場合もあるが、統合失調症等含め精神疾患などからくるものであれば、関りだけで対応方法がそれでいいの

か、難しいところである。そうなるとう一般のもの忘れ相談医・内科・脳外科の医師では鑑別は難しい。認知症疾患医療センターに相談し、どのような対応が適切なのか、訪問や支援の方策を考えていくのが非常に重要というところで、書かせていただいた次第です。

A 委員) おっしゃる通り一番最初で鑑別がついていなくてはいけないところです。スパッといかないもの。精神科医師が入っていれば違うのでしょうか。

A 委員) それでは事例のほうの意見交換に移りましょう。

(以下事例検討のため省略)

A 委員) じゃあ時間もありますのでこの辺で。議題の事例については終わります。最後に認知症カフェのことについて高松市から御説明ください。

議題 (4) その他

事務局)

- ① たかまつ認知症フェアについて (令和元年8月27日～8月31日)
- ② 認知症カフェの拡大実施について
- ③ 認知症高齢者等の情報提供及び支援に関する協定について

A 委員) どこが一番流行っていますか。

事務局) モデル事業からスタートしている社会福祉協議会のカフェが一番実績があります。しかし新しい ZAGZAG やマルナカ等店舗内で始める新しい試みもスタートしているので、新たな参加者も期待が高まる所です。

A 委員) その他について、何か御質問はありませんか。

事務局) 令和元年度の本検討委員会の開催につきましては、年2回を予定しております。令和元年度第2回検討委員会は、令和2年2月末頃を予定しております。また、1月頃に日程調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。